



約束 5 テクニック4

2本のラインで区切ろう

4年生

どこに何を書くか決めよう！

ノートにはいろいろなことを書きます。ノートを書いた日の日づけ、教科書の章のタイトル、黒板の内容、先生や友だちの意見などなど。でも、それぞれ書く場所は決まっていますか？ ノートを書くたびに、書く場所が違っては、きれいなノートは書けません。

東大生のノートは、どこに何を書くかが決まっています。そうすると、書くときに手が迷わないし、見直したときに、どこに何が書いてあるかわかりやすいノートになるからです。

ラインを引いてみよう！

何も書いていないノートを前に、ど

うやって書けばいいのかわかったこと

があると思います。でも、穴埋め式の問題が印刷されたプリントだと、どこに何を書けばいいかわからず書けますよね。それは、書くべき場所がはっきりわかるようになっていくからです。だったらキミのノートも、どこに何を書けばいいのかわかるように、ラインを引いて、書く場所を決めてしまえばいいのです。

ただ、ラインを何本も引くのは大変です。おすすめは2本のラインを使ったノートです。引き方は、左のページに紹介してあります。

ラインの幅は、使いながら広くなり、狭くしたり調節をしながら、キミが書きやすいノートにしてください。



ラインで区切る前に、書きたい要素を洗い出す

お子さまが、まっさらなノートの前で途方に暮れていたたり、バランスよく書いていなかったりするのには、どこに何を書けばいいのかわかっているからです。そんなときは、ぜひ2本のラインを引いて、ノートを3つのスペースにわけることをおすすめします。

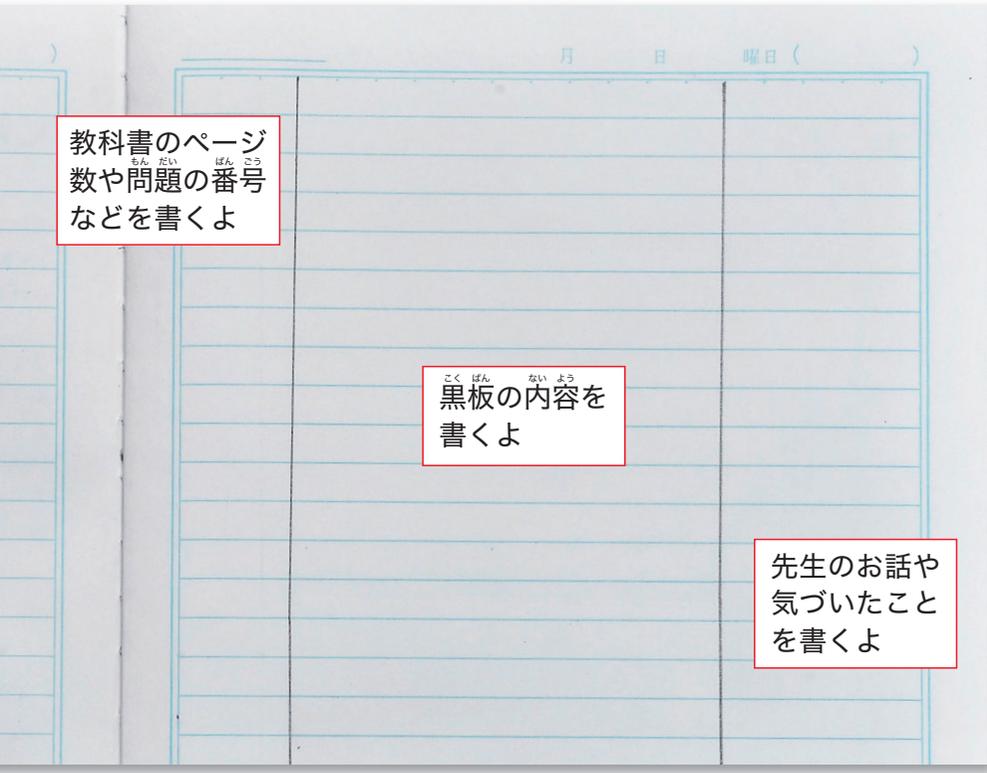
小学生の間は、ラインの位置を決めるのは難しい作業です。一緒に位置を決めてあげてください。以下がラインを決める3つの手順になります。

- ① ノートに書きたい要素を洗い出す。
 - ② 同じスペース内に書くべき要素を、3つのグループにわける。
 - ③ ひとつのグループがどれくらいになるかを考えて、ラインを引く。
- ラインの位置は、ノートを使っていくなかで調節していきましょう。

おすすめ2本ラインの使い方

よみ書きノート

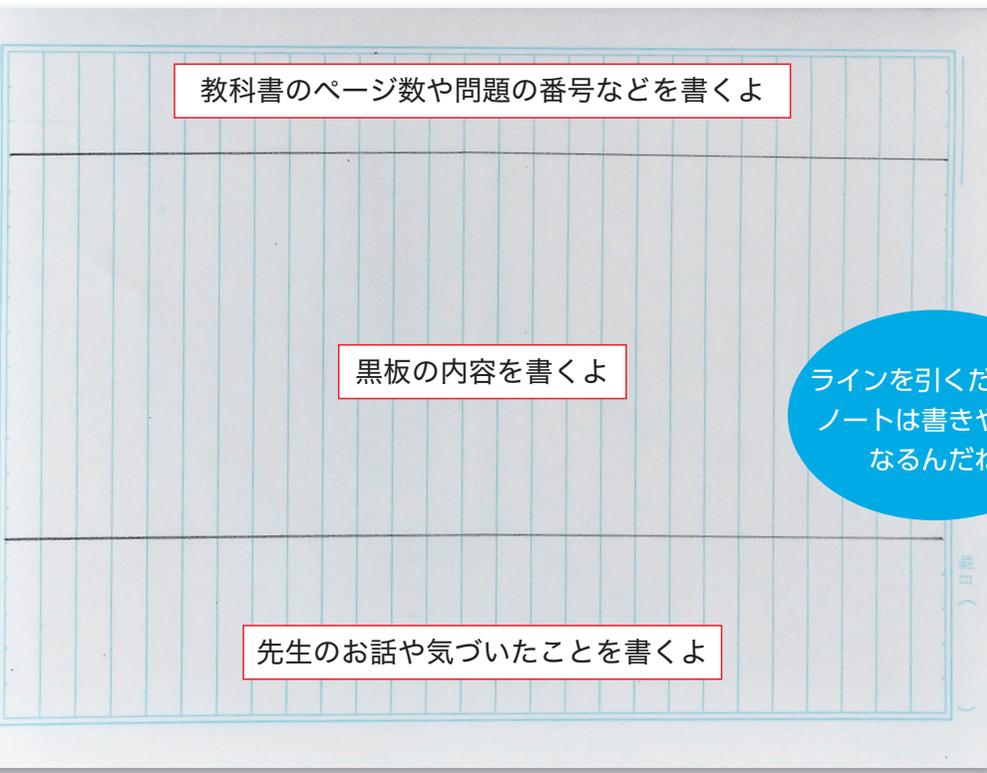
たて書きノート



教科書のページ数や問題の番号などを書くよ

黒板の内容を書くよ

先生のお話や気づいたことを書くよ



教科書のページ数や問題の番号などを書くよ

黒板の内容を書くよ

先生のお話や気づいたことを書くよ

ラインを引くだけで、ノートは書きやすくなるんだね

